（その４）

工場又は事業場の名称	JFEコンテイナー株式会社 千葉工場

（３）自主的取組実績の評価

ア　（１）の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成２１年度以前	平成２２年度	平成２３年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考　評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ　課題と対策

課題①　弊社受注状況によって生産量が毎年変動しており、塗料の使用状況に影響します。
平成２５年度は、生産量が前年度並みでしたが、ピークよりも落ち込んでいる為、揮発性有機化合物排出量が目標達成となりました。ただし今後の景気回復動向により、受注状況が増加傾向となる場合は、目標達成が困難な年度となる可能性があります。

対策①　製品品質維持を前提にしておりますが、外面・内面塗装工程の塗料・シンナーの原単位削減を継続して推進してまいります。

課題②　昨今、弊社製品であるドラム缶の外面塗装品質について、顧客より品質向上および管理強化に対する要望が増加しております。
そのため、検査体制を強化し塗装品質向上・維持管理を推進した結果、塗装手直しによる塗装使用量が増加しております。

対策②　手直し塗装量低減を目的に、当工程のさらなる設備改善（外面塗装面美麗化）を実施していきます。

備考　この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がＣの場合は、必ず記載すること。